

18th International Conference on Precision Engineering (ICPE2020)

大阪大学 大学院工学研究科

講師 杉原 達哉

(2020 年度 国際会議等準備及び開催助成 AF-2020244-V1)

キーワード：加工・計測，工作機械・要素技術，ロボティクス

1. 開催日時

2020 年 11 月 24 日(火)～26 日(木)

2. 開催形式

オンデマンド方式によるオンライン開催

3. 開催形式

3・1 会議の概要

2020 年 11 月 24 日～26 日の日程で，精密工学会が主催する 18th International Conference on Precision Engineering (ICPE 2020)が開催された. 今回で 18 回目となる ICPE は，精密工学に関する国際学会であり，1974 年に第 1 回が開催された後，2006 年以来は隔年で開催されている. ICPE2020 では，加工・計測，工作機械・要素技術，ロボティクス，メカトロニクス，CAD/CAM 等をはじめ，デジタル設計/生産，アディティブマニュファクチャリング，MEMS，医工学など，精密工学に関する幅広い分野を扱った. 当初，ICPE2020 は神戸商工会議所（兵庫県神戸市）での開催が予定されていたが，新型コロナウイルス（COVID-19）の影響のため，初のオンライン開催となった.

3・2 会議の詳細

オープニングセレモニーでは，まず精密工学会長の高増教授（東京大学）より，ウイズコロナ・ポストコロナ時代における新しいヒューマンインタラクションの機会の提供と若手研究者の支援に関して，精密工学会が役割を果たす必要があるとの表明がなされた. 次に，大会委員長の白瀬教授（神戸大学）から，歓迎の言葉とともに，ICPE の歴史と神戸の魅力が紹介された（図 1）.

ICPE2020 では，基調講演（5 件），オーラルセッション（189 件），ポスターセッション（38 件）が 3 日間の日程で行われた. 基調講演では，国内外の著名な研究者より以下の講演が行われた.

- カナダ ブリティッシュ コロンビア大学 Altintas 教授
“Digital Machining Process”
- 中国 天津大学 Fang 教授
“Precision Manufacturing of Bio-implants”



図 1 白瀬教授（ICPE2020 実行委員長）によるオープニングセレモニーの様子

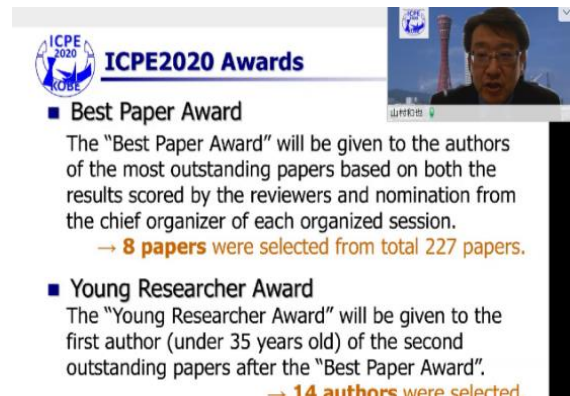


図 2 山村教授（ICPE2020 プログラム委員長）による受賞者発表の様子



図 3 松原教授（ICPE2022 実行委員長）による ICPE2022 の紹介

- ドイツ アーヘン工科大学 Brecher 教授
“Internet of Production- Turning data into Value”
- 日本 株式会社牧野フライス 井上社長
“Reconfigurability by Design”
- 韓国 延世大学校 Kim 教授
“Tribological Challenges in Precision Engineering”

オーラルセッションは、講演者によって予め投稿された動画を期間中自由に視聴することができる、オンデマンド方式で開催された。また、オーラルセッション・ポスターセッションでは、質疑は各講演の専用ページにコメントを残す形で実施された。気になる講演を複数回視聴することで、より理解が深まるなど、オンライン学会ならではのメリットも多く得ることができた。大会事務局発表では、総アクセス数 40625 回、動画再生回数 1391 回と、大盛況であった。

2 日目に予定されていたバンケットは残念ながら開催されなかったものの、代わりに地元神戸で 270 年の歴史を持つ株式会社神戸酒心館の安福社長より、「伝統と革新がもたらすサステナブルな酒造り」というタイトルで、伝統

技術と IoT などの最新技術を融合したサステナブルな酒造りについての特別講演が行われた。

クロージングセレモニーでは、プログラム委員長の山村教授（大阪大学）より、8 件の Best Paper 賞、ならびに、14 件の Young Researcher 賞が授与された（図 2）。続いて、第 19 回大会委員長の松原教授（京都大学）より、ICPE2022 の紹介が行われた（図 3）。ICPE2022 は、2022 年 11 月 29 日～12 月 1 日の日程で、奈良にて開催予定である。また、LEM21 の実行委員長の榎原教授（九州工業大学）より、次回の LEM21 が 2021 年 11 月 14 日～18 日に北九州で開催予定との紹介があった。最後に、精密工学会副会長の平岡教授（中央大学）より、精密工学の発展と貢献により持続可能なゴールを目指すべく、すべての研究者へ一層の精進と次回 ICPE2022 での再会を呼びかけ、ICPE2020 は閉会した。

謝 辞

本会議を開催するにあたり、公益財団法人天田財団より国際会議開催準備助成を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。